

暑中お見舞い申し上げます



梅雨明けが待ち遠しい季節、暑さも本格的になってまいりました。今年も各地で大雨のニュースが連日報道され、被災された方には心よりお見舞い申し上げます。他人事と考えると、自然災害への心構えと準備に気を引き締めてまいります。今年も夏本番に向けて、ご利用者様への納涼イベントを企画しております。まだまだ新型コロナウイルス感染症への警戒を緩めることのできない状況は続いておりますが、その中で出来ることを工夫し、皆様の日常生活に潤いと楽しみを増やしてまいります。今夏も健康で元気にすごしましょう。

はなさかさかす

社会福祉法人報徳会
広報紙(季刊)
令和6年夏号
発行責任者
理事長 内田善久



コロナ依然として脅威



コロナウイルス感染症が5類感染症へ分類されてから1年2か月が過ぎました。街中や電車内などでのマスクをしていない人が普通の風景となりつつあるこの頃ですが、コロナウイルスがいなくなったわけではありません。2月頃に少なくなっていた感染者数は、一転して右肩上がりに急増しており相模原市内でも全国平均を上回る感染者数を記録しています。手指消毒、他人のいる場所でのマスク着用など対策を継続して、うつらない・うつさない!



熱中症にご注意!

梅雨とはいえ、太平洋高気圧と熱波の張出しで猛暑が始まりました。暑さに身体が慣れていないこの時期は熱中症にかかりやすく、とても危険です。「日差し」と「気温」に注意がいきがちですが「湿度」「風」も重要で、湿度六五%を超えると危険が高まります。エアコンや扇風機を使い屋内熱中症に注意しましょう。



はなさか連載コラム ⑬

《じゃんけん》で負けて蛍に生まれたの 池田澄子 《

社会福祉法人報徳会理事 岩壁 清吉



《蛍がしゃべっているのだろうか。それとも蛍に問うているのだろうか。末尾の『の』の読み方によって情景が大きく変わる。それに、じゃんけん》で負けて蛍に生まれた、という軽さといつか、偶然性がおかしく、蛍が急に身近になる。作者はこの句によって有名な俳人になった。《坪内稔典「季語刻々」毎日新聞 23・6・6》

評者ネンテンさんは『の』の用法で「情景の拡がりを解き明かす。作者イケスミさんは《金魚は何故か金魚に生まれ、蛍は何故か蛍に生まれ、私たちは人に生まれた。同じ人間でも、大地震のような災害に出会う時や場に、あるいは戦争に關わらざるを得ない時と場に生まれることがある。何時、何処に何に生まれるかは、誰も分からないし選べない。》(『本日は逢いたし』日経BPP刊)と運命を受け容れる。今年、米寿の「エスプリ」溢れる自在の句作が、若者も捉える。鎌倉生まれ、父の出征による新潟での疎開。諧謔と厭戦の三句。

《出目金魚》の頭痛そう夢見月 《

《ピーマン切って中を明るくしてあげた 《

《前へススメ前へススミテ還ラザル 《

牽強付会、私は《蛍と戦争》に立ち還る。暑い授業風景も現前に。

《夜更けに火が燃えつき、骨を拾うにも見当つかず、そのままのわたわらに横たわり、周囲はおびただしい蛍のむれだが清太は手にとることもせず、これやったら節子さびしいやろ、蛍がついてるものなあ、上ったり下ったりついでと横へ走ったりもうじき螢もおらんようになるけど、螢と一緒に天国へいき》野坂昭如『火垂るの墓』

作品の背景を語り《事実とはかなり違う、あらかじめ想を凝らしたのではない。妹と落ちのびた先のおびただしい螢の群れを脳裡に浮かべ、題を考えるうち、螢の古名「火垂る」を思い出した。これは焼夷弾の降る光景にも通じる《こんな風に優しくいたわり深く暮らすべきであったと、いわば後からの思いが文字となる(戦争と私)》。

「螢に仮託して描かれた兄と妹の世界と時代相に思いを重ねる。《人に死し鶴に生れて冴々返る》《董すれ程な小さき人に生れたし》。《苦しい》と言ひ遣し世を辞した夏目漱石の転生の句も甦る。

新磯健康づくりポイント (AKP48)

- A** あらいそ Step 1. ポイントカードをもって、新磯散歩へ Go!
- K** 健康づくり Step 2. チェックポイントでスタンプを集めよう。
- P** ポイント Step 3. 12ポイントでお花カードとお食事券

48
2024.10/1~11/30 **Wチャンス!** お食事を申込みの方、抽選でもらえる!
新磯公民館まつりで使える商品券をプレゼント

新磯地区を徒歩での外出をサポートする「AKP48」。
 地区内の商店や介護事業所に設置しているスタンプを集めて、記念品（お花カード、介護事業所のお食事券）を貰おう。スタンプ設置場所はAKP48のぼり旗が目印！ 参加対象は新磯にお住まいの方。是非ご参加を！

祝ご長寿



小嶋 輝江 様 99 歳

7月1日で99歳を迎えられた小嶋様。豊年ユニットで他の方との大好きなおしゃべりを楽しみながら、健やかに過ごされています。

スタッフ紹介



越代ユニット野崎美香リーダー。逃げない、めげない明るくサッパリした性格でご利用様に人気です。



デイサービスの七夕飾りには、ご利用者様がそれぞれの願い事を短冊にしたためて飾っています。笹竹は敷地内の竹藪から採ってきています。

新磯おでかけサポート わ・わ・わ

地域貢献として、施設車両の空き時間を利用して「新磯おでかけサポートわ・わ・わ」へ車両と運行の協力提供を行っています。新磯地区にお住いの高齢者の方に、お買い物や通院のサポートをする事業です。



大矢さんの花壇
 越代ユニットにいらした、大矢さんのご指導で昨夏道路沿いの花壇に植えた植物が、今年も立派に花をつけて歩道と入口を飾っています。



本格的な野菜栽培の時期がやってきました。昨年暮れに植えた玉ねぎは上手く育ち、新玉ねぎでご利用者様のお食事に提供しました。じゃが芋とネギも収穫しメニューに使っています。例年通りきつまま芋2種類、350本の苗と、オクラの種を蒔き、かわいい新芽が出ています。今年には新たにナスの栽培を始めました。上手く育ったら来年は拡大します。このあとは秋から冬にかけて収穫する人参と大根の種を播きます。



はなさか農園 2024